

No.50 2015.9.11 (Fri



## 2A

体操の前のトイレタイム。



歩ける方は、歩いて会場へ。

9月9日は、「カーネル サンダースのケンタッ キ-の日です」

患者さん、始めのうちは少々緊張気味?!

すてきな笑顔です

X

合唱したり。患者さんからも さんのリクエストで「ふるさと」を が見られ始めました。途中、 らスタート!続いて、PT桑原さ 刀ルに体操を進めます。 たこう♪」を歌いながら、手、足、 んが輪の中心へ。「幸せなら手をた 楽しい!」の声が聞かれました。 集団体操」が行われています。 まずは、ST佐瀬さんのMCか この頃には、患者さんにも笑顔 毎週水曜日11時から約15分間 背伸びヘ・・・と変化させリズミ



今週号のIngでは、「動きのある地域包括ケア病棟」を提唱している身障リハ科。PT・OT・ST・

の活動を紹介し

ら 早 2

専門性を生かしたそれぞれのかかわりを取材しました。

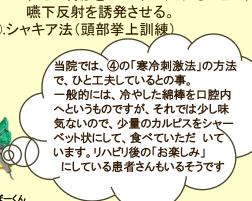
皆さん、リズム♪にのって、手足を動かしていました。楽しそう!!

## ■■嚥下リハビリのすすめ方(基本)■■

- ①.頸部リラクゼーション、ストレッチ
- ②.口腔ケア(自分で口ゆすぎができない方)
- ③.口腔器官運動(「パ」、「タ」、「カ」、「ラ」) ⇒舌の動きを意識して、はっきり、ゆっくり
- 4).寒冷刺激法

レポーター

- ⇒冷たい刺激を口の中へ入れることで、 嚥下反射を誘発させる。
- ⑤.シャキア法(頭部挙上訓練)





滑舌が上手くいかなかった箇所 一読してからもう一度挑戦し ます。(写真は構音訓練の様子)

しながら、リラックスして





でびっしりと書かれた便箋をみて、 もって生活習慣を送っていけるよう 画をやってみたい」との反応があり作業療法スター 途切れぬよう心がけている。 すが、愛車の話になると単語を並べ、話をしてくれるとの事。 ためにと一生懸命働いていたあの時代。愛用していた『水色の また、文字を書く事が好きな女性の患者さん。毎日、 ハスタッフ間でも共有し、患者さんとのコミュニケーションが

絵画を勧めてみ

た。「水墨

患者さんが自らの役割を見つけ、自信を られている写真は、その素敵な作品である。 「患者さんとの何気ない会話を大切に、

斉藤OT

写真。これは、180歳代男性。べ OT斉藤さんが担当となり、コミュニケーションのきっかけを 歳代男性。ベッドサイドの壁に、 患者さんの心へ近づける大切な写真なのだそ 飾られている三枚の車の

探していた時の事。

患者さんより、「マルハン」、「水色」、「オー

と、「マルハン」=「丸いハンドル」という事がわかってきた。家族の ト三輪」という単語がたびたび聞かれ、何の事かと調べていく

発語が乏しくなってしまった患者さんで

これからも、ぼーくんレポーターは色々な場所での 潜入レポートを計画中。是非うちの部署へという所 は内線1505へ。ご連絡待ってます!

